

2021 年度実施方針

ロボット・AI 部

1. 件名：人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業
2. 根拠法
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法第十五条第二号及び第九号
3. 背景及び目的・目標

我が国は、「第5期科学技術基本計画」(2016年1月閣議決定)において Society 5.0 を標榜しており、SDGs 等の世界規模の課題の解決に貢献するとともに、成熟社会が直面する少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少などの社会課題を、他国に先駆けて解決しなければならない。これらの課題解決にはテクノロジーと社会の仕組みを連動して変革していく必要があるが、そのテクノロジーの一つとして人工知能(AI)技術に大きな期待が寄せられている。

既に実世界の様々な分野やタスクにおいて AI 技術の適用が拡大されつつある一方で、社会的・経済的な影響が大きい分野・タスクにおいては、AI による推論結果を直接的に機械制御等に活用するのではなく、人と AI がそれぞれの得意領域で役割分担して協働していく必要がある。その際には、単純に役割分担をするだけなく、人と AI が相互に作用することで、人は AI の推論から新たな気づきを得て、AI は人から知見を得ることで推論精度等を更に高めることができる、人と共に進化する AI システムの実現が重要となる。

人と共に進化する AI システムの研究開発は、「AI 戦略 2019～人・産業・地域・政府全てに AI～」(2019年6月統合イノベーション戦略推進会議決定)の(別表)中核基盤研究開発の一つとして、「文脈や意味を理解し、想定外の事象にも対応でき、人のインテラクションにより能力を高め合う共進化 AI の開発」として記載されており、重要な研究開発領域である。

加えて、AI を実世界に隅々まで浸透させるためには以下の課題も、依然として存在している。

- AI の推論結果が社会的・経済的に及ぼす影響が大きい分野・タスクでは、AI の安全性などの品質が重要となるが、AI の品質の評価・管理手法等はいまだ確立されておらず、AI 技術を適用する際の障壁となっている。
- そもそも取得できる学習用データが少ない分野や、モデル構築のために大量のデータが必要となり多額のコストがかかる分野の場合、AI 技術の適用が難しい。

我が国が、直面する社会課題を解決するためには、人と共に進化する AI 技術の基盤を確立し、上記の課題を解決して幅広い分野に適用していく研究開発が必要となる。

本プロジェクトでは上記の状況を踏まえ、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少など、今後、我が国が直面する社会課題を解決するために、以下の「人と共に進化する AI システムの基盤技術開発」を実施する。

「人と共に進化する AI システムの基盤技術開発」

人と AI が相互に作用しながら共に成長し進化するシステムを構築するために

は、人が AI の判断結果だけでなく、判断根拠や推論の経緯を理解し、そこから気づきや新たな知見を得られる必要がある。しかし、機械学習、特にディープラーニングは、推論過程・判断根拠がブラックボックスとなっている。このため、AI の推論根拠や過程を示し、人が AI を理解することを可能とする技術を開発する。

一方で、当該システムを構築するためには AI が人から知見を得ることで推論精度等を高めていく仕組みも構築する必要がある。そのため、データと知識の融合や AI による人の意図理解など、人と AI が相互に理解し、学習していくための基盤技術についても開発する。

また、AI の実世界適用にあたって、AI の品質評価や管理における課題の解決や、実データの取得困難性による課題を解決するため、あわせて以下の研究開発を行う。

「実世界で信頼できる AI の評価・管理手法の確立」

AI、特に機械学習を利用した AI システムの品質について、それぞれの分野に適用される AI システムに必要な性能、安全性などを勘案して、必要な品質が十分に担保されていることを確認・管理できる手法を確立する。

「容易に構築・導入できる AI 技術の開発」

学習用データを十分に用意できない場合であっても、AI システムの構築・導入を可能とする汎用性の高い学習済みモデルの構築及び利活用に係る基盤技術の開発を行う。

[委託事業]

研究開発項目① 「人と共に進化する AI システムの基盤技術開発」

中間目標（2022 年度）

開発する各技術について、試験的に特定の分野に適用可能なレベルに達する。また、各要素技術については試験的に特定の分野に適用し、開発研究に向けた課題抽出を行う。

最終目標（2024 年度）

特定分野に試験的に適用した結果、挙げられた課題を解決し、開発研究を開始することを目標に、試験適用結果に基づく課題を解決し、開発研究の開始に必要な技術を確立する。

研究開発項目② 「実世界で信頼できる AI の評価手法の確立」

中間目標（2022 年度）

- 実際の事例に基づいて、具体的な品質評価・管理マニュアルを 3 件公開する。
- 品質の計測技術・向上技術について試験的に具体的な事例に適用する。
- テストベッドの基盤的部分について研究者向けに公開する。

最終目標（2023 年度）

- 公開した品質評価・管理手法を活用し、現場で実際に品質管理を 3 件以上行う。
- 開発した品質の計測技術・向上技術をテストベッドに組み込む。
- 研究者からのフィードバックを受け、必要となる機能を搭載したテストベッドの完成版を公開する。

研究開発項目③ 「容易に構築・導入できる AI の開発」

中間目標（2022 年度）

汎用学習済みモデルを効率的に構築する技術など、AI システムを容易に構築する

要素技術の有効性を確認する。その際、具体的な事例で試験的に AI システムを複数件構築し、試験結果から、プラットフォーム構築に向けた課題抽出を行う。

最終目標（2024 年度）

汎用学習済みモデルを用いて効率的に構築でき、容易に利活用でき、実用レベルで機能する AI システムを、大学や企業等が利用できるプラットフォームを構築する。

4. 実施内容及び進捗状況

人と共に進化する AI システムの基盤技術を確立するため、以下の技術を研究開発した。

なお、本プロジェクトのプロジェクトマネージャーに NEDO ロボット・AI 部 仙洞田充を任命して、プロジェクトの進行全体を企画・管理し、そのプロジェクトに求められる技術的成果及び政策的効果を最大化させた。

また、産業技術総合研究所人工知能研究センター 研究センター長 辻井 潤一氏をプロジェクトリーダーとし、以下の研究開発を実施した。

4. 1 2020 年度事業内容

研究開発項目① 「人と共に進化する AI システムの基盤技術開発」

以下の研究開発テーマを採択し、研究開発を開始した。

①-1 人と共に進化する AI システムのフレームワーク開発

| 研究開発テーマ | 実施者 |
|--|-------------------|
| サイボーグ AI に関する研究開発 | 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 |
| 実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発（①-2、①-3、②、③を含む） | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 |
| | 日鉄ソリューションズ株式会社 |

①-2 説明できる AI の基盤技術開発

| 研究開発テーマ | 実施者 |
|--|-------------------|
| 学習者の自己説明と AI の説明生成の共進化による教育学習支援環境 EXAIT の研究開発 | 株式会社内田洋行 |
| | 京都大学 |
| 実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発【再掲】 | 慶應義塾 |
| | 産業技術総合研究所 |
| | 中部大学 |
| 進化的機械知能に基づく XAI の基盤技術と産業応用基盤の開発 | キューピー株式会社 |
| | 東京医科大学 |
| | 横浜国立大学 |
| 説明できる自律化インターフェクション AI の研究開発と育児・発達支援への応用（①-3 を含む） | 大阪大学 |
| | 電気通信大学 |
| | 株式会社 ChiCaRo |
| 人と共に成長するオンライン語学学習支援 AI システムの開発 | 早稲田大学 |
| モジュール型モデルによる深層学習のホワイトボックス化 | 東京工業大学 |
| | GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 |

①－3 人の意図や知識を理解して学習する AI の基盤技術開発

| 研究開発テーマ | 実施者 |
|--|---|
| インタラクティブなストーリー型コンテンツ創作支援基盤の開発 | 慶應義塾 公立はこだて未来大学 株式会社手塚プロダクション 電気通信大学 東京大学 株式会社ヒストリア 立教学院 株式会社A1e's |
| 実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発【再掲】 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 |
| 熟練者暗黙知の顕在化・伝承を支援する人協調 AI 基盤技術開発 | 京都大学 国立研究開発法人産業技術総合研究所 三菱電機株式会社 |
| 説明できる自律化インタラクションAIの研究開発と育児・発達支援への応用【再掲】 | 大阪大学 電気通信大学 株式会社 ChiCaRo |
| 人と共に進化する AI オンライン教育プラットフォームの開発 | コグニティブリサーチラボ株式会社 京都大学 |
| 人と AI の協調を進化させるセマンティックオーサリング基盤の開発 | 沖電気工業株式会社 東北大学 名古屋工業大学 国立研究開発法人理化学研究所 |
| AI とオペレータの『意味』を介したコミュニケーションによる結晶成長技術開発 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 東海国立大学機構名古屋大学 名古屋工業大学 国立研究開発法人理化学研究所 |
| AI と VR を活用した分子ロボット共創環境の研究開発 | 関西大学 合同会社分子ロボット総合研究所 北海道大学 |
| Patient Journey を理解し臨床開発での意思決定を支援する人工知能基盤の開発 | サスメド株式会社 |

研究開発項目② 「実世界で信頼できる AI の評価手法の確立」

以下の研究開発テーマを推進し、「機械学習品質マネジメントガイドライン」及び「機械学習システムの品質評価テストベッド」を公開した。

| 研究開発テーマ | 実施者 |
|-------------------------------|-----------|
| 機械学習システムの品質評価指標・測定テストベッドの研究開発 | 産業技術総合研究所 |

研究開発項目③ 「容易に構築・導入できる AI の開発」

以下の研究開発テーマを採択し、研究開発を開始した。

| 研究開発テーマ | 実施者 |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発【再掲】 | 産業技術総合研究所 株式会社 AI メディカルサービス |

4. 2 実績推移

| | 2020 年度 |
|--------------------|---------|
| 実績額推移 一般勘定（百万円） | 2,970 |
| 特許出願件数（件） | 3 |
| 論文発表数（報） | 38 |
| フォーラム等（件） | 0 |

5. 事業内容

人と共に進化する AI システムの基盤技術を確立するため、以下の技術の研究開発、及び調査事業を実施する。

なお、本プロジェクト、プロジェクトマネージャーに NEDO ロボット・AI 部 大塚亮太を任命して、プロジェクトの進行全体を企画・管理し、そのプロジェクトに求められる技術的成果及び政策的效果を最大化させる。

また、産業技術総合研究所人工知能研究センター 研究センター長 辻井 潤一氏をプロジェクトリーダーとし、以下の研究開発を実施する。実施体制については、別紙を参照のこと。

5. 1 2021 年度事業内容

研究開発項目① 「人と共に進化する AI システムの基盤技術開発」

採択したテーマのもとで、「人と共に進化する AI システム」の以下の技術の研究開発を行う。

- 活用する分野において必要な精度を保ちつつ、AI の学習結果や推論過程・推論根拠を説明する AI システムを実現する技術
- データからの機械学習で得られる知識と、人が持つ知識を融合して利用する技術や、人の意図を理解する技術など、人と AI が相互学習する上で必要となる基盤技術

また、多くの分野でリファレンスとなる人と共に進化する AI システムのアーキテクチャや、人の認知行動に係る研究開発などの人と共に進化する AI の共通基盤技術も開発する。

共通基盤技術は多様な実社会の環境で試験しつつ研究開発を進める必要があるため、このような共通基盤技術は様々な分野へ適用して試験できる環境やその環境が再現できる設備が整った研究開発拠点において研究開発を行う。

また、同時に研究開発拠点は研究開発成果の実社会への橋渡しを行うため、以下の機能を備える。

- 研究開発拠点の研究成果について、他の実施者や外部の研究者が活用できるように整備するとともに、密に意見交換できる体制を構築する。
- 人と共に進化する AI システムに係る研究開発拠点以外の成果についても、NEDO の協力のもと他の実施者の許諾を得て、集約化し統一的な情報発信を行うことで、開発した技術の実用化・事業化を促進する。

研究開発項目② 「実世界で信頼できる AI の評価手法の確立」

具体的な AI の品質評価・管理手法を確立するために、以下の研究開発を行う。

- 「機械学習品質マネジメントガイドライン」を踏まえ、実際の事例をベースに、評価項目・指標・目的など明示化した具体的な品質評価・管理マニュアルの策定
- 推論結果の安定性の計測技術や向上技術などの品質評価・管理技術の開発
- AI の品質評価・管理のプロセスは AI システムの構築と並行して行われること

が想定されることから、その過程で生じる膨大な検査データや統計的なデータ等を統合的に取り扱うことができるテストベッドの開発

研究開発項目③ 「容易に構築・導入できる AI の開発」

採択したテーマのもとで、大量の学習用データを用いた学習済みモデルを用いて、少量の学習用データで AI システムを効率的に作成するためのプラットフォームを構築する。具体的には、画像、動画や言語など異なるタイプのデータによる汎用モデルを効率的に構築する技術の開発、実応用分野に分かれた準汎用モデルの開発、それら学習済モデルを組み合わせて適用分野において少量データで高精度のモデルを構築する技術の開発、データや構築されたモデルを効率的に管理して利活用を容易にするための技術の開発などを行う。また、本技術開発は多種多様・大量データを効率的に処理する計算基盤が必要不可欠であることから、その設備が整った研究開発拠点において研究開発を行う。

また、研究開発拠点は研究開発成果の実社会への橋渡しを行うため、以下の機能を備える。

- 研究開発拠点の研究成果について、他の実施者や外部の研究者が活用できるように整備するとともに、密に意見交換できる体制を構築する。
- 「容易に構築・導入できる AI」に係る研究開発成果を積極的に発信し、開発した技術の実用化・事業化を促進する。

調査事業①：「人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業」の技術動向及びアウトリーチ調査

「人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業」及び各研究開発テーマについて、関連する技術動向及びアウトリーチに係る調査を実施し、収集・整理した情報を事業にフィードバックすることにより研究開発の成果を更に向上、拡大することを目的とする調査。

調査事業②：「人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業」の知財戦略調査

「人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業」で進めている各研究開発テーマについて、特許取得の動向や関連する情報を収集し、各研究テーマにフィードバックすることにより適切な知財戦略を立案することを目標とする調査。

5. 2 2021 年度事業規模

一般勘定 2,810 百万円

事業規模については、変動があり得る。

6. 事業の実施方式

6. 1 その他

本プロジェクトは非連続ナショナルプロジェクトとして取扱う。

7. その他重要事項

(1) 評価の方法

NEDO は、技術的及び政策的観点から、研究開発の意義、目標達成度、成果の技術的意義並びに将来の産業への波及効果等について、技術評価実施規程に基づき、プロジェクト評価を実施する。中間評価を 2022 年に実施する。

(2) 運営・管理

- プロジェクトマネージャー（PM）は、経済産業省と密接に連携し、本プロジェクトの目的及び目標に照らして適切な運営管理を実施する。
- PMは、国内外の関連技術動向を把握するとともに、プロジェクト全体の進捗を把握・管理し、その進捗状況を踏まえて、資金配分や技術開発内容の見直し、実施体制の変更、加速、方向転換、中断、新規実施者の組み込み等を柔軟かつ機動的に行う。
- 研究開発テーマの目標設定においては、AI分野の研究開発を取り巻く状況は短期間で劇的に変化する可能性があることを踏まえて、PMは必要に応じて以下のような取組を行える環境を整備する。
 - 研究開発テーマの目標は当該研究開発によって最終的に解決する課題のみ明確化し、その過程における詳細な目標設定は必要に応じて見直す。
 - 実態に沿った研究開発を実施するため、実施者は現場での試験、有識者やユーザーからの評価などから課題を抽出し、それを解決していくというサイクルを確立し、最終的なアウトプットを出すまでの計画を立てる。
- PMは、研究開発実施者にアジャイル型の研究開発に適した開発管理を行わせる。
- PMは、適正で公平な研究開発の推進のために、想定タスクを実現するための段階的な目標として、ステージゲート評価及び最終評価時の到達目標、評価基準を出来る限り早急に明確化する。
- 研究開発するテーマ間、実用化に向けた企業等との協業を目的としたワークショップ等を開催して、本プロジェクトの情報発信を行う。
- プロジェクトで取組む技術分野について、内外の技術開発動向、政策動向、市場動向、特許情報等について必要に応じて調査し、研究開発の推進に活用する。
- 本プロジェクトに関連して、国際競争力の強化を図るため、人工知能技術分野の人材育成、人的交流等の展開等を実施する。

(3) 複数年度契約の実施

2020年度～2021年度の複数年度契約を行う。

(4) 知財マネジメントにかかる運用

「NEDOプロジェクトにおける知財マネジメント基本方針」に従ってプロジェクトを実施する。なお、PMはプロジェクトの成果の拡大及び普及を図るため、必要に応じ、そのための基本事項について公募時に示すこととする。

(5) データマネジメントにかかる運用

「NEDOプロジェクトにおけるデータマネジメントに係る基本方針」に従ってプロジェクトを実施する。なお、PMはプロジェクトの成果の拡大及び普及を図るため、必要に応じ、そのための基本事項について公募時に示すこととする。

(6) 標準化施策等との連携

本プロジェクトにより得られた研究開発成果については、標準化施策等との連携を図ることとし、標準化に向けて開発する評価手法の提案、データの提供等を積極的に行う。なお、先端分野での国際標準化活動を重要視する観点から、NEDOは、研究開発成果の国際標準化を戦略的に推進する仕組みを構築し、標準化の提案（2023年度提案見込み）に向けて積極的に役割を果たしていく。

NEDO及び研究開発実施者は、プロジェクト終了後も得られた研究開発成果を標準化活動に役立てることとし、国際標準化に向けて積極的に役割を果たしていく。

8. スケジュール

本年度の公募スケジュール（予定）が決まり次第追記する。

9. 実施方針の改定履歴

- (1) 2021年2月、制定
- (2) 2021年6月、実績の追加、プロジェクトマネージャー(PM)の変更、実施体制の変更（研究テーマ：Patient Journeyを理解し臨床開発での意思決定を支援する人工知能基盤の開発、人と共に進化するAIオンライン教育プラットフォームの開発、機械学習システムの品質評価指標・測定テストベッドの研究開発）
- (3) 2021年9月、調査事業について追記

(別紙) 実施体制

研究開発項目①「人と共に進化するAIシステムの基盤技術開発」

①-1 人と共に進化するAIシステムのフレームワーク開発

研究テーマ：実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発

(当該テーマは全体提案であり各研究開発項目も抱合した研究テーマである。研究開発項目ごとにそれぞれの実施体制を記載している。)

| | |
|------|--|
| NEDO | |
| 委託契約 | |
| | 国立研究開発法人産業技術総合研究所研究実施場所：つくばセンター（茨城県つくば市） 研究実施場所：臨海副都心センター（東京都江東区） 研究実施場所：柏センター（千葉県柏市） 研究項目：人と共に進化するAIシステムのフレームワーク開発 研究項目：ワールドモデルに基づく人・ロボットの共進化フレームワークの構築 研究項目：人の生活・安全、安心のためのデータ・知識融合フレームワークの構築 研究項目：人と協働して知識を生成・蓄積するAIフレームワークの構築 |
| 再委託先 | 学校法人早稲田大学 研究実施場所：機関理工学部（東京都新宿区） 研究項目：記号・実世界融合 |
| 再委託先 | 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 研究実施場所：情報科学領域（奈良県生駒市） 研究項目：記号・実世界融合 |
| 再委託先 | 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 研究実施場所：国立情報学研究所（東京都千代田区） 研究項目：デジタルツイン |
| 再委託先 | 国立大学法人筑波大学 研究実施場所：筑波キャンパス（茨城県つくば市） 研究項目：知識グラフ生成 |
| 再委託先 | 国立大学法人大阪大学 研究実施場所：基礎工学研究科（大阪府豊中市） 研究項目：ロボット行動生成 |
| 再委託先 | 学校法人梅村学園 中京大学 研究実施場所：名古屋キャンパス（愛知県名古屋市） 研究項目：ロボット行動生成 |
| 再委託先 | 学校法人常翔学園 大阪工業大学 研究実施場所：梅田キャンパス（大阪府大阪市） 研究項目：根拠分析・設計 |
| 再委託先 | 国立学校法人東京工業大学 研究実施場所：工学院（東京都目黒区） 研究項目：生活現象DB |
| 再委託先 | 国立学校法人長崎大学 研究実施場所：歯学部棟（長崎県長崎市） 研究項目：正解候補選択機構 |
| 再委託先 | 国立学校法人山梨大学 研究実施場所：医学部付属病院（山梨県中央市） 研究項目：Quality Check技術 |
| 委託契約 | 日鉄ソリューションズ株式会社 研究実施場所：システム研究開発センター（神奈川県横浜市） 研究項目：精度監視システムによる対話的AI改善業務フローの研究開発 |

研究テーマ：サイボーグAIに関する研究開発

NEDO

委託契約

株式会社国際電気通信基礎技術研究所
研究実施場所：脳情報通信総合研究所（京都府相楽郡）
研究開発項目：人と実時間、実環境で協働可能なサイボーグAIプラットフォーム
・サイボーグAIのための身体デザイン法
・多関節・多筋の身体と接続すべきAIの制御アーキテクチャ
・ロボットX-Games環境の構築
研究開発項目：人とサイボーグAIとの協働による運動学習アルゴリズム
・人間のAIとの協働的な生成的模倣学習
・運動および操作指令の系列からの分節化手法
研究開発項目：人とサイボーグAIとの協働による創造アルゴリズム
・脳-AI融合による3次元世界の可視化、予測
・脳-AI共進化による創造性の理解
研究開発項目：人とサイボーグAIとの運動転移アルゴリズム
・Real-Sim-Realに基づく高効率の転移学習法

再委託先

国立大学法人京都大学
研究実施場所：理学研究科・情報学研究科（京都府京都市）
研究項目：Real-Sim-Real転移学習によるサイボーグAI身体系の制御

再委託先

国立研究開発法人産業技術総合研究所
研究実施場所：人間情報インターフェース研究部門（茨城県つくば市）
研究開発項目：サイボーグAIダイナミクスの低次元情報表現法

再委託先

国立大学法人北海道大学
研究実施場所：人間知・脳・AI研究教育センター（北海道札幌市）
研究開発項目：サイボーグAI学習のための階層ペイスネットワーク

①－2 説明できるAIの基盤技術開発

研究テーマ：実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発

| NEDO | |
|------|--|
| 委託契約 | <p>学校法人中部大学 研究実施場所：中部大学工学部（愛知県春日井市） 研究項目：<ul style="list-style-type: none">・マルチスケールアテンション機構によるエキスパートの知見の導入・マルチスケールアテンション機構による教育ツール・動画像からのスキル判定における視覚的説明の実現・深層強化学習における視覚的説明の実現</p> |
| 委託契約 | <p>慶應義塾 研究実施場所：慶應義塾大学理工学部（神奈川県横浜市） 研究項目：<ul style="list-style-type: none">・深層強化学習における視覚的説明の実現・ロボットの行動計画における視覚・言語的説明の利活用・宇宙天気予報におけるクロスマーダル説明生成</p> |

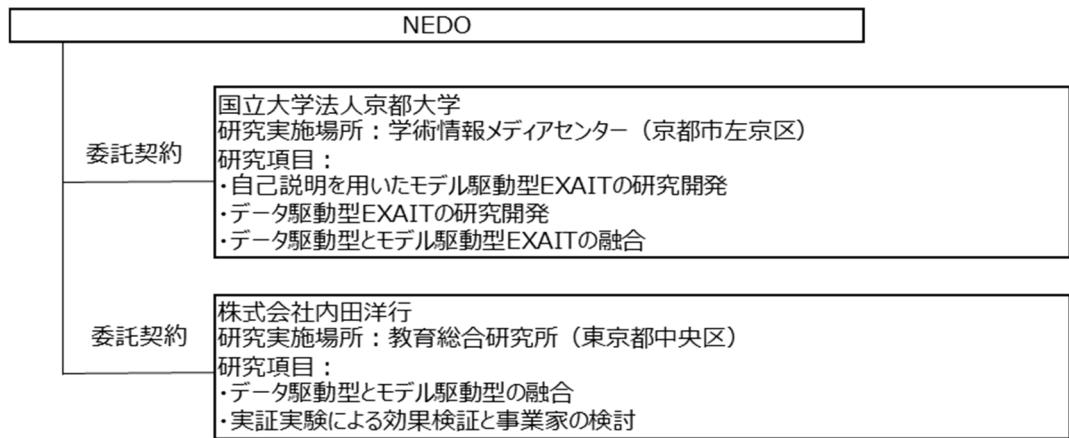
研究テーマ：モジュール型モデルによる深層学習のホワイトボックス化

| NEDO | |
|------|--|
| 委託契約 | <p>国立大学法人東京工業大学 研究実施場所：科学技術創成研究院未来産業技術研究所（神奈川県横浜市） 研究項目：説明できるAIの研究開発</p> |
| | <p>再委託先 国立大学法人神戸大学 研究実施場所：大学院医学研究科内科系講座放射線診断学分野（兵庫県神戸市） 研究項目：医用画像の情報化と心理物理実験</p> |
| | <p>再委託先 国立大学法人東京大学 研究実施場所：医学部附属病院放射線科（東京都文京区） 研究項目：医用画像の情報化と心理物理実験</p> |
| 委託契約 | <p>GEヘルスケア・ジャパン株式会社 研究実施場所：研究開発部（東京都日野市） 研究項目：説明できるAIの社会ニーズ</p> |

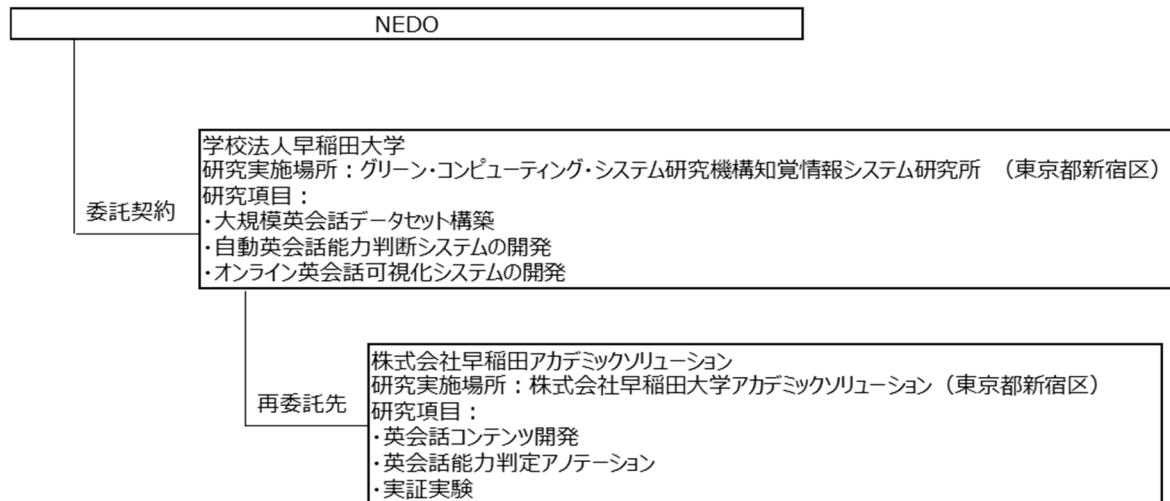
研究テーマ：進化的機械知能に基づくXAIの基盤技術と産業応用基盤の開発

| NEDO | |
|------|--|
| 委託契約 | <p>国立大学法人横浜国立大学 研究実施場所：大学院環境情報研究院 長尾智晴研究室（神奈川県横浜市） 研究項目：進化的機械知能の理論・方法論・応用システムの研究開発</p> |
| 委託契約 | <p>学校法人東京医科大学 研究実施場所：医学総合研究所 落谷孝広研究室（東京都新宿区） 研究項目：開発した機械学習技術に対する医学的見地からの信頼性評価及びデータの収集・分析</p> |
| 委託契約 | <p>キューピー株式会社 研究実施場所：研究開発本部（東京都調布市） 研究項目：データの収集・分析および機械学習の有効性の検証。社会実装の検討</p> |

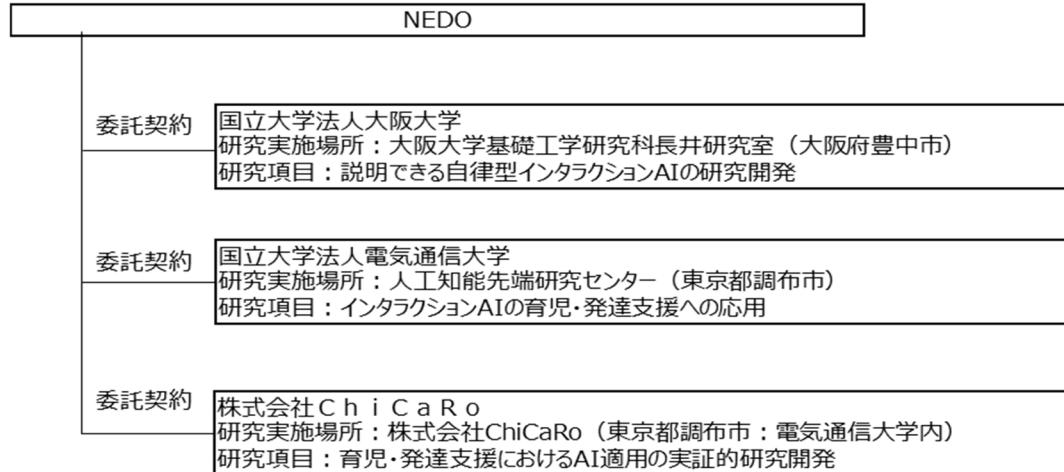
研究テーマ：学習者の自己説明とAIの説明生成の共進化による教育学習支援環境EXAITの研究開発



研究テーマ：人と共に成長するオンライン語学学習支援AIシステムの開発



研究テーマ：説明できる自律化インタラクションAIの研究開発と育児・発達支援への応用
(当該研究テーマは①-3の内容も抱合。)



①－3 人の意図や知識を理解して学習するAIの基盤技術開発

研究テーマ：インタラクティブなストーリー型コンテンツ創作支援基盤の開発

| | |
|------|--|
| | NEDO |
| 委託契約 | <p>学校法人慶應義塾 研究実施場所：理工学部管理工学科栗原研究室（神奈川県横浜市） 主たる研究項目： ・インタラクティブプロット生成システムの開発 ・インタラクティブキャラクターデザイン生成システムの開発 ・ストーリー生成シミュレーションシステムの開発 ・インタラクティブ階層型メープランニングの開発によるシナリオ生成</p> |
| 再委託先 | <p>有限会社ネオンテラ 研究実施場所：本社スタジオ（東京都練馬区） 主たる研究項目： ・インタラクティブプロット生成システムの開発 ・インタラクティブキャラクターデザイン生成システムの開発 ・ストーリー生成シミュレーションシステムの開発 ・インタラクティブ階層型メープランニングの開発によるシナリオ生成 ・絵コンテ・ネームの自動生成システムの開発</p> |
| 再委託先 | <p>株式会社エッジワークス 研究実施場所：同社内（東京都調布市） 主たる研究項目：データハンドリング</p> |
| 委託契約 | <p>国立大学法人東京大学 研究実施場所：工学部8号館355室（神奈川県横浜市） 主たる研究項目：ストーリー構造分析</p> |
| 委託契約 | <p>国立大学法人電気通信大学 研究実施場所：同大学内（東京都調布市） 主たる研究項目：絵コンテ・ネームの自動生成システムの開発</p> |
| 委託契約 | <p>公立はこだて未来大学 研究実施場所：同大学本棟433室（北海道函館市） 主たる研究項目：インタラクティブなストーリー構造決定システム構築</p> |
| 委託契約 | <p>学校法人立教学院 研究実施場所：立教大学池袋キャンパス（東京都豊島区） 主たる研究項目：ストーリー生成シミュレーションシステムの開発</p> |
| 委託契約 | <p>株式会社手塚プロダクション 研究実施場所：本社内（東京都新宿区） 研究項目：データ生成</p> |
| 委託契約 | <p>株式会社Ales 研究実施場所：同社内（東京都品川区、および北海道函館市） 主たる研究項目：一般ユーザ向けの完成されたコンテンツ生成システムの開発</p> |
| 委託契約 | <p>株式会社ヒストリア 研究実施場所：同社（東京都品川区） 主たる研究項目：ストーリー生成シミュレーションシステムの開発</p> |

研究テーマ：実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発

NEDO

委託契約

国立研究開発法人産業技術総合研究所
研究実施場所：臨海副都心センター（東京都江東区）
研究項目：状況を考慮してデータを解釈し情報伝達する人工知能基盤技術の開発
・状況に依存した入力データの構造化技術の開発
・内容プランニングと言語生成技術の開発
・データと外部知識を接続する共進化オントロジー学習

研究テーマ：熟練者暗黙知の顕在化・伝承を支援する人協調AI基盤技術開発

NEDO

委託契約

国立大学法人京都大学
研究実施場所：大学院工学研究科（京都市西京区）
研究項目：
・暗黙知表出インタビューのモデル化技術
・熟練技能特徴量間連鎖モデル構築技術
研究実施場所：大学院情報学研究科（京都市左京区）
研究項目：
・暗黙知表出インタビューのモデル化技術
・熟練技能特徴量間連鎖モデル構築技術

委託契約

国立研究開発法人産業技術総合研究所
研究実施場所：インダストリアルCPS研究センター（東京都江東区）
研究項目：
・確率的潜在意味構造解析
・熟練技能特徴量と作業結果DB-PF構築
研究実施場所：センシングシステム研究センター（佐賀県鳥栖市）
研究項目：
・確率的潜在意味構造解析
・熟練技能特徴量と作業結果DB-PF構築

委託契約

三菱電機株式会社
研究実施場所：情報技術総合研究所（神奈川県鎌倉市）
研究項目：
・暗黙知表出インタビューのモデル化技術
・対話型AIによる熟練行動判定モデル構築技術
・反実仮想説明による熟練行動習得支援技術

研究テーマ：AIとVRを活用した分子ロボット共創環境の研究開発

NEDO

委託契約

合同会社分子ロボット総合研究所
研究実施場所：研究所分室（東京都港区）
研究項目：VR共創環境の研究開発

委託契約

学校法人関西大学
研究実施場所：知能分子学研究室（大阪府吹田市）
研究項目：DNAロボットの創成とナノスケールマニピュレータへの応用

委託契約

国立大学法人北海道大学
研究実施場所：物質科学研究室（北海道札幌市）
研究項目：微小管ロボットの創成と化学エネルギー発電素子への応用

研究テーマ：人とAIの協調を進化させるセマンティックオーサリング基盤の開発

NEDO

委託契約 国立研究開発法人理化学研究所
研究実施場所：革新知能統合研究センター(東京都中央区)
研究項目：SEの設計と評価

委託契約 沖電気工業株式会社
研究実施場所：イノベーション推進センター(大阪府大阪市)
研究項目：SA支援技術の開発

再委託先 アセンブローグ株式会社
研究実施場所：アセンブローグ株式会社(東京都千代田区)
研究項目：SEの開発

委託契約 国立大学法人東北大学
研究実施場所：青葉山キャンパス(宮城県仙台市)
研究項目：教育支援

委託契約 国立大学法人名古屋工業大学
研究実施場所：御器所キャンパス(愛知県名古屋市)
研究項目：意思決定支援

研究テーマ：AIとオペレータの『意味』を介したコミュニケーションによる結晶成長技術開発

NEDO

委託契約 国立大学法人東海国立大学機構
研究実施場所：名古屋大学 未来材料・システム研究所未来材料・システム研究所（愛知県名古屋市）
研究項目：
・結晶成長AIモデル構築
・オペレータの意図の目的関数化
・SiC 結晶成長による実証試験

再委託先 アイクリystal株式会社
開発実施場所：アイクリystal株式会社（愛知県名古屋市）
開発項目：プラットフォーム開発

委託契約 国立大学法人名古屋工業大学
研究実施場所：名古屋工業大学工学部竹内研究室（愛知県名古屋市）
研究項目：意図の応じた最適化技術

委託契約 国立研究開発法人産業技術総合研究所
研究実施場所：中部センター 名古屋大学連携サイト（愛知県名古屋市）
研究項目：GaN 結晶成長による実証試験
研究実施場所：中央第2事業所 電子光基礎技術部門（茨城県つくば市）
研究項目：有機金属気相成長法(MOCVD)によるGaN結晶成長研究

委託契約 国立研究開発法人理化学研究所
研究実施場所：名古屋大学未来材料・システム研究所（愛知県名古屋市）
研究項目：オペレータの意図の目的関数化

研究テーマ：Patient Journey を理解し臨床開発での意思決定を支援する人工知能基盤の開発

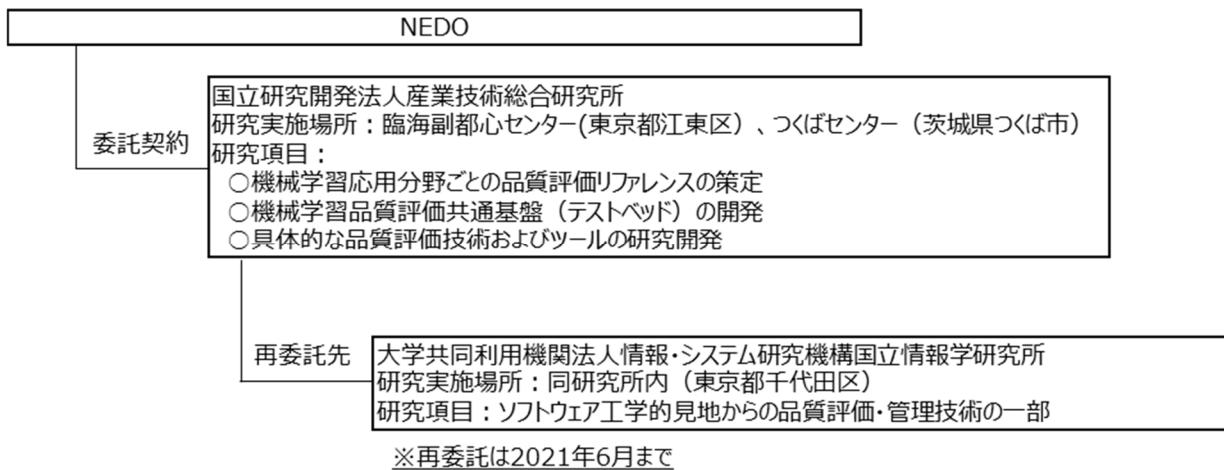
| | |
|-------|--|
| NEDO | |
| 委託契約 | <p>サスメド株式会社 研究実施場所：分析部門（東京都中央区） 研究項目：時系列医療データからのPatient Journeyの抽出システムの開発・検証 研究実施場所：開発部門（東京都中央区） 研究項目：時系列医療データからのPatient Journeyの抽出システムの実装</p> |
| 共同実施先 | <p>国立大学法人東北大学 研究実施場所：神経外科学（宮城仙台市） 研究項目：大規模疾患レジストリにおけるPatient Journeyの抽出・検証</p> |
| 共同実施先 | <p>公立大学法人名古屋市立大学 研究実施場所：精神科（愛知県名古屋市） 研究項目：電子カルテデータベースにおけるPatient Journeyの抽出・検証</p> |
| 共同実施先 | <p>国立大学法人東京大学 研究実施場所：情報学環・生物統計学（東京都文京区） 研究項目：Patient Journeyの臨床開発における有用性の検証</p> |
| 共同実施先 | <p>国立大学法人滋賀大学 研究実施場所：データサイエンス学系（滋賀彦根市） 研究項目：因果グラフ探索機能の開発・検証</p> |

研究テーマ：人と共に進化する AI オンライン教育プラットフォームの開発

| | |
|---------------|---|
| NEDO | |
| 委託契約 | <p>国立大学法人京都大学 研究実施場所：学術情報メディアセンター（京都市左京区） 研究項目： ・AI 標準カリキュラムの構築とラーニングアナリティクスによる個別化教育の研究 ・AI技術を活用したAI教材の研究開発 ・オンライン教材の活用モデルの構築</p> |
| 再委託先 | <p>金沢電子出版株式会社 研究実施場所：石川県金沢市博労町68番地 岡田ビル 4階 研究項目：AI 技術を活用したAI教材の開発</p> |
| 再委託先 | <p>MAIキャピタル株式会社 研究実施場所：東京都千代田区丸の内一丁目1番3号日本生命丸の内ガーデンタワー3F 研究項目：シルバー人材によるオンライン教育コンテンツ活</p> |
| 共同実施先 | <p>学校法人千葉工業大学 研究実施場所：森雅俊研究室（千葉県習志野市） 研究項目：クラウド型AIオンライン演習教材の開発</p> |
| ※再委託は2020年度まで | |
| 委託契約 | <p>コグニティブリサーチラボ株式会社 研究実施場所：本社オフィス（東京都港区六本木） 研究項目： ・カリキュラム自動生成アルゴリズム開発 ・PicoCTF, ESCALATE日本版開発 ・次世代セキュア型オンライン双方向配信プラットフォーム開発</p> |

研究開発項目②「実世界で信頼できるAIの評価・管理手法の確立」

研究テーマ：機械学習システムの品質評価指標・測定テストベッドの研究開発



研究開発項目③「容易に構築・導入できるAIの開発」

研究テーマ：実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発

| NEDO | |
|------|--|
| 委託契約 | <p>国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究実施場所：臨海副都心センター（東京都江東区）、つくばセンター（茨城県つくば市）、柏センター（千葉県柏市）、東京工業大学連携研究サイト（東京都目黒区） 研究項目： ・数式ドリブン自動生成データセットに基づく事前学習モデル構築技術の開発 ・動画像における柔軟な転移学習を実現する事前学習モデルの構築 ・音響信号処理モデルの汎用化・適応化とアプリケーション構築容易化のための基盤技術の開発 ・巨大な事前学習モデルと系列変換を基盤とした汎用言語処理フレームワークの開発 ・医用画像向け準汎用学習済み診断支援モデルの構築 ・ペタバイトスケールの光学およびレーダー画像を対象に物体・地物を識別するフレームワークの開発 ・容易に音響シーン分析システムを実現する視聴覚統合 ・事前学習言語モデルとネットワークモデルの融合に基づく科学技術トレンド予測 ・AI資源のリポジトリ化によるAIハブ構築技術 ・多粒度ストリームにおけるStreamOps技術の開発 ・二次最適化を利用した分散深層学習による汎用学習モデルの構築</p> |
| 再委託先 | <p>国立大学法人 東海国立大学 機構名古屋大学 研究実施場所：名古屋大学（愛知県名古屋市） 研究項目：コンテンツN次創作・配信を通じた音響時系列データ生成基盤に関する研究開発</p> |
| 再委託先 | <p>学校法人早稲田大学 研究実施場所：早稲田大学（東京都新宿区） 研究項目：クラウドソーシング利活用による音響時系列データ収集基盤に関する研究開発</p> |
| 再委託先 | <p>国立大学法人 静岡大学 研究実施場所：静岡大学（静岡県浜松市） 研究項目：特性が異なる収録機器に対して頑健な音響信号処理モデル学習技術に関する研究開発</p> |
| 再委託先 | <p>国立大学法人 筑波大学 研究実施場所：筑波大学（茨城県つくば市） 研究項目： ・少量データ学習で活用できる準汎用学習済みモデルの構築 ・AI解析に対応したデータトレーサビリティ/ストリームに対するメタデータ管理・異種プロセッサを用いた処理の高速化の研究開発</p> |
| 再委託先 | <p>公立大学法人 広島市立大学 研究実施場所：広島市立大学（広島県広島市） 研究項目：3D内視鏡技術と内視鏡映像データベースを組み合わせた内視鏡観察機能向上技術の研究開発</p> |
| 再委託先 | <p>学校法人 千葉工業大学 研究実施場所：千葉工業大学（千葉県習志野市） 研究項目：動作認識AIの効率的応用開発手法の研究開発</p> |
| 再委託先 | <p>国立大学法人 東京大学 研究実施場所：東京大学（東京都文京区） 研究項目：科学技術トレンド予測</p> |
| 委託契約 | <p>株式会社AIメディカルサービス 研究実施場所：池袋オフィス（東京都豊島区） 研究項目：汎用・準汎用学習済みモデルの実用システムにおける有効性の検証</p> |